

52nd YEAR

第52期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日

- 1 コーポレートメッセージ
- 2 株主の皆様へ
- 6 中期経営計画の進捗
- 7 セグメント別状況
- 8 連結財務諸表
- 9 トピックス
- 10 会社概要／株式の状況

株式会社 エヌアイディ



できるわけある

「できるわけない」では新しいものは生まれない。

「できるわけ」を求め・考え・探し・

創り出さなければ輝かしい未来は拓けない。

NIDは「ある」を見つけるために

培ってきた知識と技術を発展進化させつづけます。

新しい発想で、かつてない知恵で、

人が真ん中のしあわせな社会をつくりたい。

できるわけある NIDです。





代表取締役社長 **小森 俊太郎**

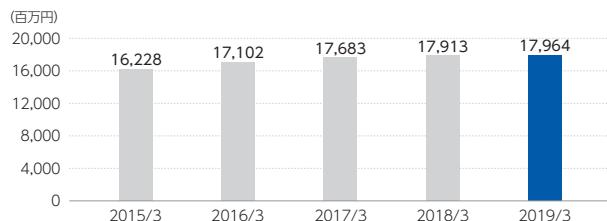
従来型のビジネスモデルに見直しが迫られる時代、
新たなビジネスモデル構築に積極的にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

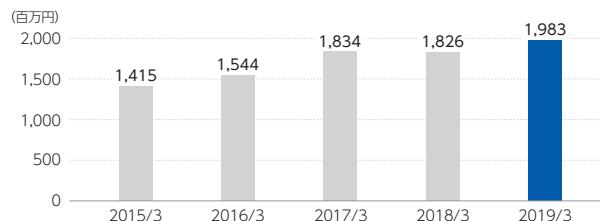
さて、わが国では、少子高齢化、人口減少が進んでおり、人手不足の問題が随所に波及していることを実感します。このような状況を打開すべく、IT投資を増大させる企業等が少なくありません。この点で、当社グループには追い風の経営環境です。

とはいえ、当社グループにおいても、人手不足は大きな課題です。増大する需要にお応えすべく、パート

売上高 **17,964**百万円



営業利益 **1,983**百万円





ナー企業とともに努力しています。人口増と大量生産を前提としたビジネスモデルからの脱却が迫られる時代にあって、当社グループとしても、生産性と品質を向上させ、新たなビジネスモデルを模索していく時期にさしかかっています。

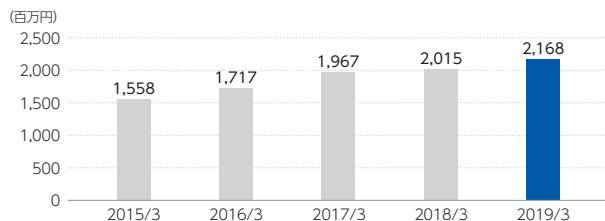
このような中、2019年3月期決算は、売上高17,964百万円（前期比0.3%増）、営業利益1,983百万円（同8.6%増）、経常利益2,168百万円（同7.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,444百万円（同6.0%増）と、いずれも過去最高を更新しました。また、営業利益率は前期比0.8ポイント増の11.0%、経常利益率は同0.9ポイント増の12.1%、親会社株主に帰属する当期純利益率は同0.4ポイント増の8.0%と、さらに改善いたしました。2019年4月には組織改革を実施し、中期経営計画「Smile（スマイル）2020」の最終年度に向けて、決意も新たにに取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

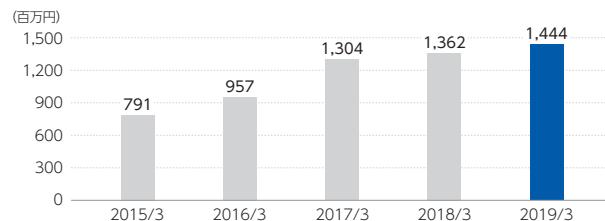
Q 2019年3月期の業績は いかがでしたか。

景気が緩やかな回復基調で推移した中で、個人消費・設備投資が持ち直し、企業収益や雇用環境が改善しまし

経常利益 2,168百万円



親会社株主に帰属する当期純利益 1,444百万円



た。一方で、米中貿易摩擦の長期化や地政学的リスクの増大などにより、海外においては先行きへの不透明感が継続しています。当社グループの属する情報サービス業界では、企業のIT投資の増加傾向が追い風となりました。しかし、技術者の不足感が非常に強く、人材確保に係る環境は厳しさを増しています。当社グループとしては、エンベデッドソリューション、ICTイノベーション、フィナンシャルシステム、そしてネットワークソリューションの各事業分野において、それぞれの強みを生かしつつ、技術進歩や市場変化に柔軟に対応し、成長を見込める分野に注力することで持続的成長と拡大をめざしてきました。この結果、2019年3月期決算では、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、過去最高を更新しました。

Q セグメント別には、どのような状況でしたか。

エンベデッドソリューション、フィナンシャルシス



テム、ネットワークソリューションの各事業が、増収増益となりました。エンベデッドソリューション事業では、社会インフラ、メディカルシステム、FA・装置制御等の分野が伸びました。フィナンシャルシステム事業では生保・損保分野、ネットワークソリューション事業では運輸・通信分野で、生産性が改善しました。

Q 中期経営計画の進捗は、どう評価していますか。

2019年3月期、増収増益を達成しましたが、受注は計画を下回りました。想定以上の技術者不足により、受注計画に影響が出ましたが、利益項目については、生産性の向上とプロジェクト管理を徹底したことにより、予想を大幅に上回ることができました。

中期経営計画の最終年度の施策としては、事業部の再編成を含む組織改革を実施し、持続的成長を維持するための投資をさらに強化していく考えです。



2018年12月1日付で株式3分割を行っており、2015年3月期の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり配当額を表示しております。



2019年4月の組織改革の狙いを教えてください。

組織名に「デザイン」の言葉を入れました。デザインとは、従来の考え方を見直し、分解し、再定義することであり、既成概念にとらわれることなく、新たなものを生み出す思考を意味します。多くのお客様からデジタルトランスフォーメーションへのニーズが高まっており、要望に変化が出てきています。私たちは、既存の価値観にとらわれることなく、お客様の真のニーズに迅速にお応えする必要があります。そのためには、事業部の壁、思考の壁を取り除き、スピーディな組織とし、4事業部制を3事業部制に再編いたしました。



今後の展望をお聞かせください。

中期経営計画に掲げる戦略ビジネスに、引き続き注力していきます。加えて、先般開示したように、医療・

ヘルスケアに特化したITベンチャーとの業務・資本提携を実施しました。メディカル業界向けのシステム開発において、協業によるシナジーを期待できるだけでなく、新しいICTヘルスケアソリューションの提供をめざしていきます。

中期経営計画最終年度ともなる2020年3月期の連結業績予想は、売上高19,000百万円（前期比5.8%増）、営業利益1,900百万円（同4.2%減）、経常利益2,060百万円（同5.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,390百万円（同3.8%減）としています。配当金は、1円増配し22円と予想しています。今後も企業価値を高め、株主の皆様のご期待に沿えるよう努力してまいります。

2019年6月

代表取締役社長 **小森 俊太郎**

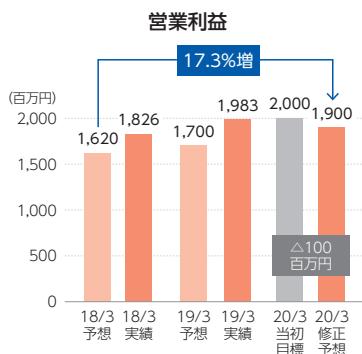
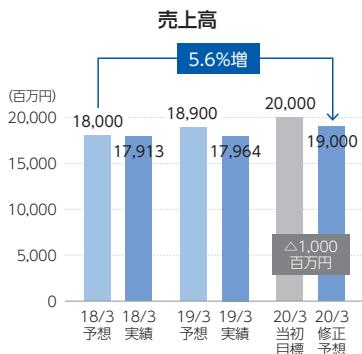
第53期 連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
(2020年3月期)	19,000	1,900	2,060	1,390
(単位：百万円)	(前期比5.8%増)	(前期比4.2%減)	(前期比5.0%減)	(前期比3.8%減)



中期経営計画の進捗

直近の業績動向や外部環境を踏まえ、最終年度2020年3月期の財務目標を修正しました(売上高:200億円→190億円/営業利益:20億円→19億円)。この目標の必達に向けて、精力的に取り組んでいきます。

■財務目標の進捗状況



■財務目標

	2018年3月期	2019年3月期		2020年3月期			
	実績	予想	実績	達成率	当初目標	修正予想	19年3月期実績比
売上高	17,913	18,900	17,964	95.0%	20,000	19,000	+5.8%
営業利益 (営業利益率)	1,826 (10.2%)	1,700 (9.0%)	1,983 (11.0%)	116.6%	2,000 (10.0%)	1,900 (10.0%)	△4.2%

■事業戦略ごとの活動状況

<AI戦略>

ES事業/ICT事業/FS事業/NS事業

チャットボットが本格的にサービスラインアップ化

<クラウド・インテグレーション戦略>

ICT事業/NS事業

クラウド環境を利用した開発ニーズ旺盛、順調に進捗

<IoT&スマートファクトリー戦略>

ICT事業

引き続き大手国内メーカーよりセンサー関連案件を複数受注

<自動車CASE(*)戦略>

ES事業

大手国内メーカー向け開発業務で、ADAS(*)・自動運転等の先進分野の案件増

(*) CASE…コネクティビティ(接続性)の[C]、オートノマス(自動運転)の[A]、シェアード(共有)の[S]、エレクトリック(電動化)の[E]。

(*) ADAS…Advanced Driver-Assistance Systemsの略称。先進運転支援システムを指す。

<プライムアカウント戦略>

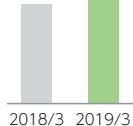
ES事業/ICT事業/FS事業/NS事業/その他事業

主要顧客上位3社で売上高前期比増を達成

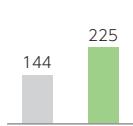


セグメント別状況

売上高 (百万円)
2,956 3,070



営業利益(百万円)



エンベデッドソリューション事業

当事業では、カーエレクトロニクス分野の売上が減少したものの、社会インフラ、メディカルシステム、FA・装置制御等の分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は3,070百万円(前期比3.8%増)、営業利益は225百万円(同55.8%増)となりました。

エンベデッドソリューション事業

3,070百万円



ネットワークソリューション事業

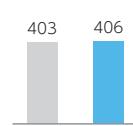
5,008百万円



売上高 (百万円)
5,002 5,008



営業利益(百万円)



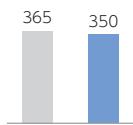
ネットワークソリューション事業

当事業では、金融・保険等の分野の売上が減少したものの、運輸・通信、官公庁・団体、建築・製造業等の分野の売上が増加しました。この結果、売上高は5,008百万円(同0.1%増)、営業利益は406百万円(同0.7%増)となりました。

売上高 (百万円)
3,880 3,787

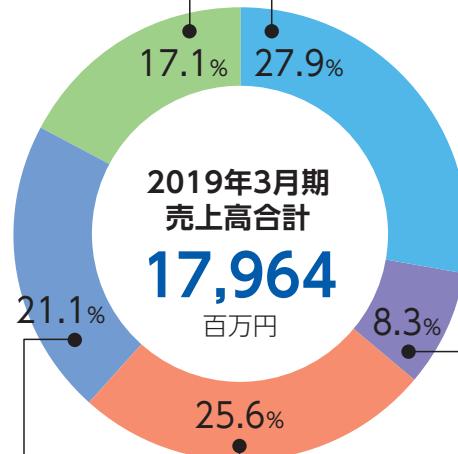


営業利益(百万円)



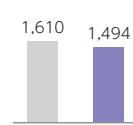
ICTイノベーション事業

当事業では、モバイル等の分野の売上・利益が減少しました。この結果、売上高は3,787百万円(同2.4%減)、営業利益は350百万円(同4.2%減)となりました。

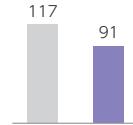


2019年3月期
売上高合計
17,964
百万円

売上高 (百万円)



営業利益(百万円)



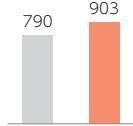
その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しております。このうち、データソリューション事業、人材派遣事業の売上・利益が減少しました。この結果、売上高は1,494百万円(同7.2%減)、営業利益は91百万円(同21.4%減)となりました。

売上高 (百万円)
4,462 4,604



営業利益(百万円)



フィナンシャルシステム事業

当事業では、クレジット・証券等の分野の売上が減少したものの、生保・損保分野の売上・利益が増加しました。この結果、売上高は4,604百万円(同3.2%増)、営業利益は903百万円(同14.3%増)となりました。

フィナンシャルシステム事業

4,604百万円



その他

1,494百万円

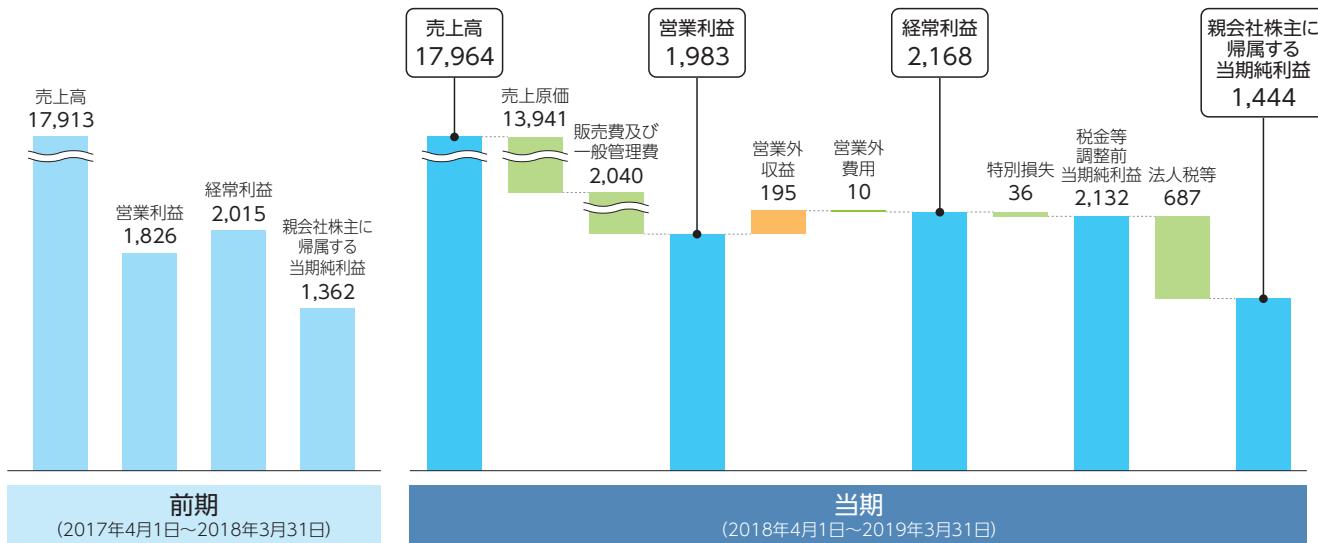


ICTイノベーション事業

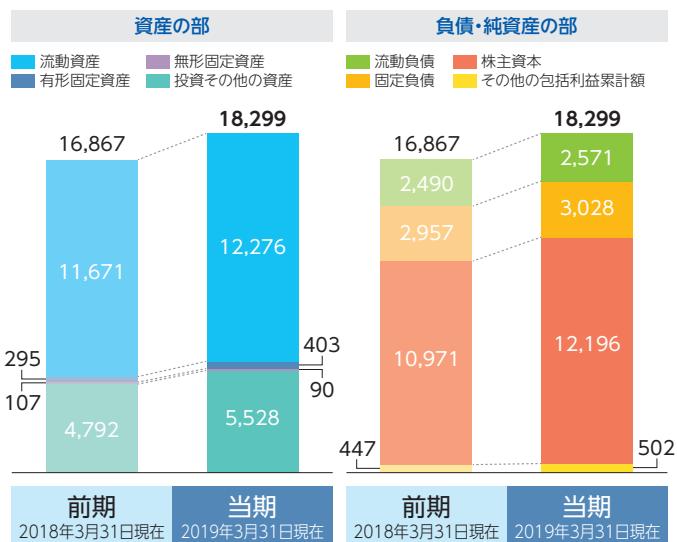
3,787百万円



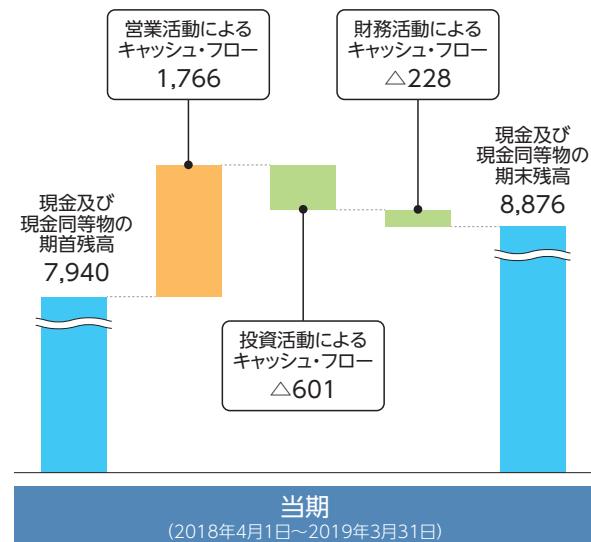
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



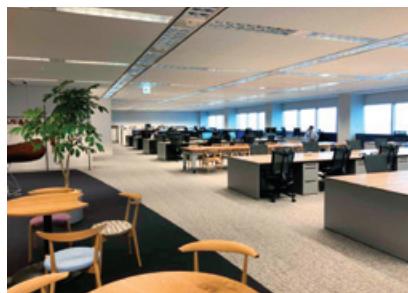
連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



グループ会社2社が新オフィスへ移転

株式会社 NID・MI

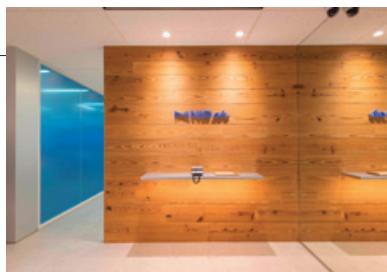
株式会社NID・MIは、2018年10月、新オフィスを千葉市美浜区にオープンしました。多くのお客様がオフィスを構える幕張新都心に移転したことで営業力強化を図っています。また、オフィス移転に伴い内装を一新、コンセプトは「考えるオフィス」としました。使用されている家具や照明は、一般的なオフィスではあまり見かけない自然の素材を生かしたものとなっており、社員の想像力を刺激する全く新しいオフィス空間を実現しました。社員のモチベーションアップにも大いに貢献しています。



象徴的なエントランスと広々としたワークスペース。

株式会社 NID air

株式会社NID・IEは、2019年1月、社名をNID airに変更するとともにオフィスを東京都中央区に移転しました。新しい社名には、「air＝空気は人間が生活するうえで無くてはならない存在であり、我々もお客様にとってそうありたい」という思いが込められています。新オフィスは社員の働きやすさを重視した設計となっており、随所にairを想起させる大きなガラスや木材を使用し、風通しよく温かみのある社風を醸成するのに一役買っています。



木材とガラスを生かしたエントランスとミーティングスペース。



会社概要／株式の状況

会社概要 (2019年3月31日現在)

社 名 株式会社エヌアイデイ
 英 社 名 (Nippon Information Development Co., Ltd.)
 所 在 地 〒104-6029
 (本 社) 東京都中央区晴海 1-8-10
 TEL: 03-6221-6811 (代)
 FAX: 03-6221-6812

設 立 1967年5月
 資 本 金 6億5,335万円

役 員 取締役会長 小 森 孝 一
 (2019年6月26日現在) 代表取締役社長 小 森 俊 太 郎
 常 務 取 締 役 盛 満 敏 昭
 取 締 役 馬 場 常 雄
 取 締 役 石 井 廣
 取 締 役 加 藤 政 次
 取 締 役 小 菅 宏
 取 締 役 酒 井 真 一
 取 締 役 石 井 慎 一^{*1}
 常 勤 監 査 役 鈴 衛 哲 雄^{*2}
 監 査 役 千 年 雅 行^{*2}
 監 査 役 松 山 元^{*2}

※1.石井慎一氏は社外取締役であります。
 ※2.千年氏及び松山氏は社外監査役であります。

社 員 数 連結1,446名 単体963名
 事 業 内 容 ・エンベデッドソリューション事業
 ・ICTイノベーション事業
 ・フィナンシャルシステム事業
 ・ネットワークソリューション事業
 ・その他事業

グループ会社 (株)NID・M I
 (株)NID 東北
 (株)NID air*

※(株)NID airは、2019年1月に(株)NID・IEより商号を変更しております。

主要取引銀行 三菱UFJ銀行
 みずほ銀行
 千葉銀行
 三井住友銀行
 三菱UFJ信託銀行
 佐原信用金庫

株式の状況 (2019年3月31日現在)

(1)発行可能株式総数 17,479,320株
 (2)発行済株式の総数 13,109,490株
 (3)株主数 855名
 (4)大株主

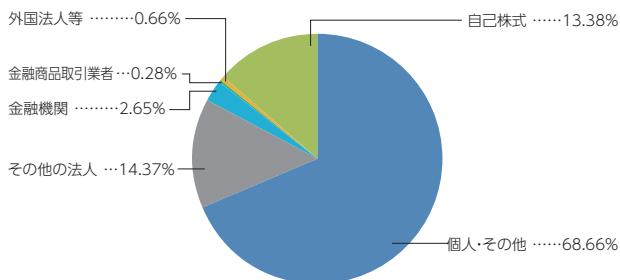
株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
小森 俊太郎	1,908,880	16.81
小森 孝一	1,647,946	14.51
エヌアイデイ従業員持株会	1,041,588	9.17
株式会社クリエートトニーワン	701,100	6.17
株式会社光通信	617,100	5.43
小澤 忍	450,096	3.96
鈴木 清司	327,876	2.89
一般財団法人小森文化財団	300,000	2.64
馬場 常雄	228,250	2.01
菅井 源太郎	218,376	1.92

(注) 1.当社は、自己株式を1,753,704株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

3.持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



【商標について】記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。



株主メモ／株主アンケート

株 主 メ モ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.nid.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に 公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

株式会社 エヌアイディ

〒104-6029 東京都中央区晴海 1-8-10
TEL:03-6221-6811(代) FAX:03-6221-6812

<https://www.nid.co.jp>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2349

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media) についての詳細 <https://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。